目次

1 必要なソフトウェアをインストールする

2 印刷する

3 コピーする

4 スキャンする

5

6

7

8

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置をラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

弊社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

弊社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン(家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠)に適合しています。

本書の中で ⚠ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

オンラインマニュアルの目次

メンテナンス

困ったときには

マニュアルの種類と使い方

1 『セットアップガイド』

WorkCentre 2150J を開梱して、インクカートリッジなどを取り付ける手順を説明しています。

2 『取扱説明書』

WorkCentre 2150J の設置後に必要なソフトウェアのインストール方法を説明しています。
また、プリンター／コピー／スキャナーを使用するときや、トラブルが発生したときなどに役に立ちます。

3 『オンラインマニュアル』

使い方

印刷方法を詳しく知りたいときや、トラブルが発生したときなどに役に立ちます。

オンラインマニュアルの使い方

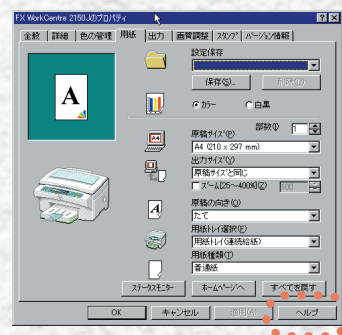
方法その１

［スタート］ボタンから開く

［スタート］－［プログラム］－
[FX WorkCentre 2150J] －
［オンラインマニュアル］の順に
クリックすると、オンライン
マニュアルが開きます。

方法その２

［ヘルプ］ボタンから開く

［ヘルプ］ボタンをクリックすると
オンラインマニュアルが開きます。

＊一部、動画を使用して操作方法を説明しています。

マニュアルの読み方

このマニュアルを効率よく
ご使用いただくための読み方
について説明します。

手順番号

操作の手順です。

1 の時は、まだ続きがあります。

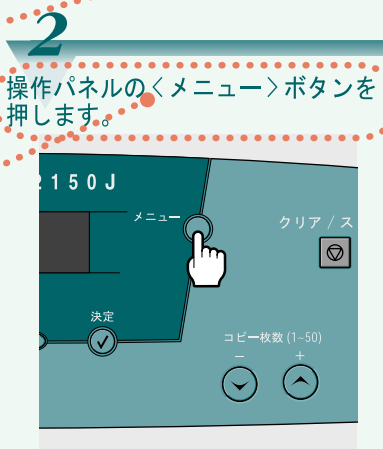
1 の時は、操作は終了です。

本機 WorkCentre 2150J を省略して、「2150J」と記載しています。

初心者マーク

初心者の人も、そうでない人も、知っていると参考になる情報です。

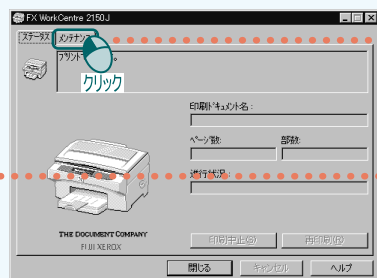
コンピューターの画面上で選択する項目を［ ］で囲んで表します。

操作パネルのボタンを＜＞で囲んで表します。

注記
インクの残量を確認する前に、次の 2 点を確認します。

- コンピューターの電源が入っていること
- 2150J とコンピューターが USB ケーブル、またはパラレルケーブルで接続されていること

3

［メンテナンス］タブをクリックします。

4

インクの残量を確認し、インクの交換が必要な場合は、インクを交換します。

参照
「インクカートリッジを交換する」（111 ページ）

補足
インクの残量は、2150J の操作パネルでも確認できます。

注記

操作などを失敗しないための情報です。必ずお読みください。

クリックマーク

ここで、マウスをクリックします。

ダブルクリック マークのときは、マウスをダブルクリックします。

操作説明

操作の説明です。

参照

関連するページの情報です。

補足

説明を補足しています。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次のような構成になっています。

1. 必要なソフトウェアをインストールする

2150Jを使用するために必要なソフトウェア(プリンタードライバー、スキャナードライバー、およびDocuWorks V.3.0E)をインストールする手順について説明しています。

2. 印刷する

コンピューターから印刷を指示する手順や印刷を中止する手順、およびいろいろな印刷方法について説明しています。

3. コピーする

基本的なコピーのとり方をはじめ、縮小/拡大コピーなどいろいろなコピーのとり方について説明しています。

4. スキャンする

スキャンする方法やスキャンボタンマネージャの設定方法について説明しています。

5. 用紙・原稿をセットする

普通紙をはじめ、はがきや封筒などいろいろな用紙をセットする手順、および原稿を原稿ガラスにセットする手順について説明しています。

6. 困ったときには

うまく印刷できないときやエラーメッセージが表示されたときなどの、トラブル対処方法について説明しています。

7. 2150Jのお手入れ

インクカートリッジやヘッドカートリッジを交換する手順、およびプリントヘッドや本体をクリーニングする手順について説明しています。

8. 付録

2150Jの各部のなまえや、インストールしたソフトウェアを削除したり、バージョンアップしたりする手順、および消耗品やアフターサービスについてのご案内を説明しています。

安全にご利用いただくために

機械を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」のページを最後までお読みください。

各図記号は以下のような意味を表しています

⚠警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。**

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

高温注意

発火注意

感電注意

指はさみ注意

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

禁止

火気禁止

分解禁止

接触禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

指示

プラグを抜け

アース線を接続せよ

⚠警告

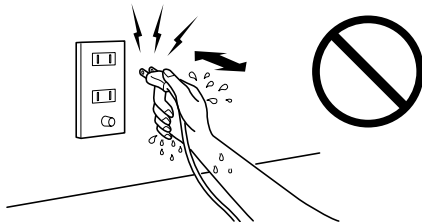
電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。
なお、本機の定格電源は、100V、0.85Aとなっています。

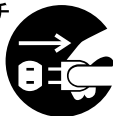
電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微少電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。
発熱による火災のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っぱたり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電のおそれがあります。

⚠ 警告

電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、弊社のカストマーコールセンターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

万一、異物（金属片、水、液体）が内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、弊社のカストマーコールセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。

機械の上に金属類を置かないでください。すき間から内部に、クリップやホチキスの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、機械内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

機械を改造したり、部品を変更して使用しないでください。火災のおそれがあります。

次のようなときには直ちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後､弊社のカストマーコールセンターにご連絡ください。そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 機械の内部に水が入ったとき

万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、緑色のアース線を、必ず次のいずれかに取り付けてください。

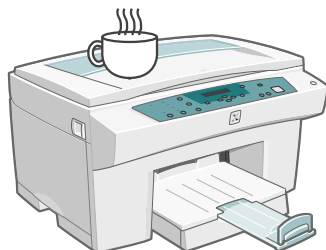
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650㎜以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカストマーコールセンターにご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

⚠ 警告

機械の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。

インクカートリッジを交換するときは、インクが皮膚に付かないよう注意してください。インクが付いてしまった場合は、水でよく洗ってください。インクが付いたままにしておくと、皮膚に炎症を起こす原因となることがあります。

アース線を接続するときは、必ず電源プラグをコンセントに接続してから行ってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。

⚠ 注意

機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。

連休などで長期間、機械をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となるおそれがあります。

機械の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃や保守を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

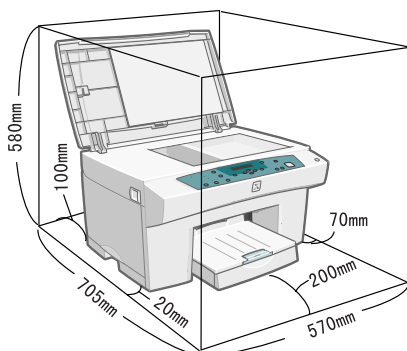
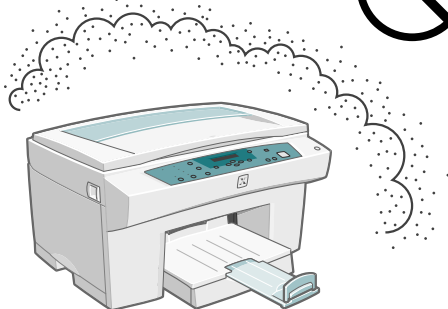
1か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は弊社のカストマーコールセンターまでご連絡ください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはありませんか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- 電源コードにき裂やすり傷などはありませんか。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。火災の原因となるおそれがあります。

機械は重さ11.3kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。

⚠ 注意

機械の上部には通気口があります。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。また、機械の操作および消耗品類の交換、日常の点検など、機械を正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所には機械を移動しないでください。発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

機械を持ち上げるときは、十分にひざを折り、腰を痛めないように注意してください。

原稿カバーを開けたままコピーをとるとき、ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

スキャナーユニットを開けるときは、落下しないように止まるまで開けるか手で押さえていてください。また、閉めるときはゆっくり閉めてください。スキャナーユニットを勢いよく閉めたときに手などをはさむと、ケガをすることがありますので、ご注意ください。

つまった用紙を取り除くときは、機械内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。
なお、紙片や用紙が見えない部分およびローラーに巻き付いているときは、無理に取らないでください。ケガの原因となるおそれがあります。直ちに電源スイッチを切り、カストマーコールセンターに連絡してください。

機械の上に重いものを載せないでください。機械のバランスが崩れて倒れたり、重いものが落下してケガの原因となるおそれがあります。

インターフェイスケーブルを接続するときは、必ず電源スイッチを切ってください。感電の原因となるおそれがあります。

機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガをする原因となるおそれがあります。

その他

良い状態でご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。
温度 15〜30℃　湿度 20〜80%（結露がないこと）

直射日光の当たる場所には機械を置かないでください。故障の原因となることがあります。

インクカートリッジは、安全のため子供の手の届かないところに保管してください。誤ってインクをなめたり、飲んだり、または目に入った場合には、すぐ医師にご相談ください。

受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる（アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください。）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。

- 紙幣(外国紙幣を含む)、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。
  これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
- 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

- 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面
- 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書
- 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名、記名
- 私人の印影または署名

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

(1) 複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど

(2) 改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど

(3) 送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線(インターネットを含む)を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど

権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の禁止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

- 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。
- 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製
- 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用
- 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。
  ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。
- 学校教科書への掲載。
  ただし、権利者への補償金が必要です。
- 学校その他教育機関における複製。
  ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不等に害しない範囲内に限ります。
- 試験問題としての複製。
  ただし、権利者への補償金が必要です。

国際エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラムは、大切な地球環境を守るために以下のような方法を推奨し、エネルギーを節約することを目的にしています。本機は、この国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。

節電モード

WorkCentre 2150Jは、電力消費量を軽減するために、消費電力を節約する機能を持っています。そのため、一定時間使用しないと、自動的に節電モードになります。時間は、操作パネルで設定します。また、節電モードは、<スタート>ボタンを押すと解除できます。

スリープモード

WorkCentre 2150Jは、60分間使用しないと、消費電力を節約するため、スリープモードになります。スリープモードでは、ディスプレイの表示が消えるので、電源が切れているように見えます。スリープモードは、<電源>スイッチを押すと解除できます。

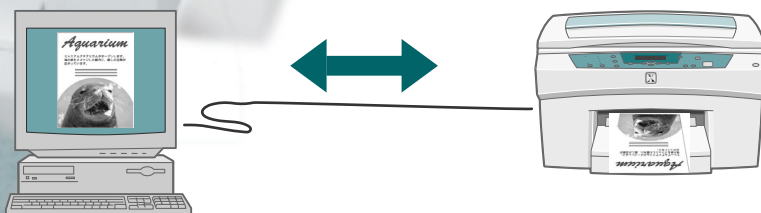
Chapter 1
必要なソフトウェアをインストールする

1.1 必要なソフトウェアをインストールする

・プリンタードライバーとスキャナードライバー

コンピューターで作成した文書をプリンターに送るには、プリンターが理解できる形式に変換する必要があります。
また、スキャナーで読み込んだデータをコンピューターが処理するには、コンピューターが理解できる形式に変換する必要があります。
プリンタードライバーやスキャナードライバーは、データを変換して、コンピューターと2150Jの仲介役をつとめます。

プリンタードライバーが
データを変換して、2150J
に送ります。

スキャナードライバーが
スキャナーで読み込んだ
データを変換します。

ドライバーをコンピューターに組み込むことを、「ドライバーをインストールする」といいます。

・DocuWorks

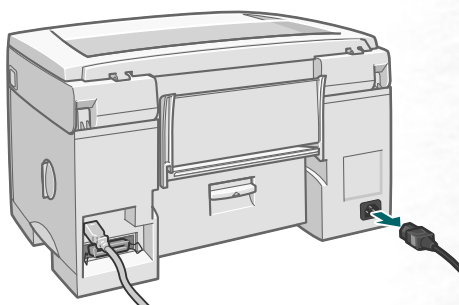
DocuWorks for Windows Ver. 3.1をインストールするときは、「DocuWorks Ver. 3.1をインストールする前に」（176ページ）をお読みください。
このソフトウェアをインストールすると、2150Jで読み込んだ画像を使って、文書の作成や編集ができます。

2150Jのスキャナーは、TWAIN規格に準拠しています。また、スキャン用のスキャナードライバー（TWAINドライバー）は単体では動作しません。TWAIN規格に準拠したアプリケーションソフト（例えば、添付のDocuWorks Ver. 3.1）からスキャナーで画像を読み取るときに使用します。

Windows Me/98/95にインストールする

Windows 2000およびWindows NT 4.0のコンピューターにインストールする場合は、別冊の『Windows® 2000/Windows NT® 4.0インストール手順書』をご覧ください。
Windows Me、Windows 98、およびWindows 95のコンピューターにインストールする手順は、次のとおりです。

① 2150Jの電源を切ります。

2150Jの電源ケーブルを、電源ケーブル接続口から抜きます。

② ドライバーをインストールします。

CD-ROMを使って、プリンタードライバーとスキャナードライバーをインストールします。

「ドライバーのインストール」(4ページ)

コンピューターにCD-ROMドライブがない、使用できないなどの場合は、カストマーコールセンターにご連絡ください。

③ レジ調整をします。

新しいヘッドカートリッジを取り付けた場合は必ず、レジ調整をします。レジ調整は、コンピューターの画面、または2150Jの操作パネルからできます。レジ調整をしないと、印刷した画像や文字の色がずれてしまうことがあります。

「レジ調整」(8ページ)

④ DocuWorksをインストールします。

「DocuWorksのインストール」(11ページ)

ドライバーのインストール

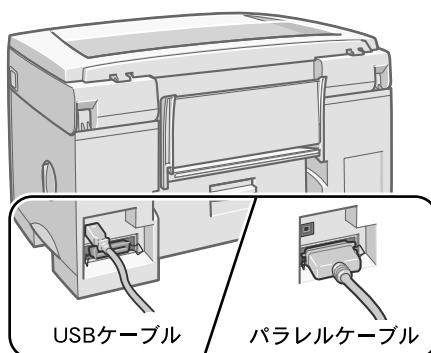
Windows Me、Windows 98、および Windows 95のコンピューターに、プリンタードライバーとスキャナードライバーをインストールする手順を説明します。Windows 2000およびWindows NT 4.0のコンピューターにインストールする場合は、別冊の『Windows® 2000/Windows NT® 4.0インストール手順書』をご覧ください。
なお画面は、例としてWindows 98の画面を使用しています。

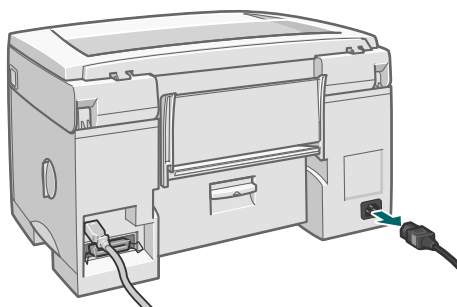
2150Jのドライバーは、NEC 9800シリーズのコンピューターにはインストールできません。2150Jのドライバーを NEC 9800シリーズのコンピューターにインストールしようとすると、次のようなエラーメッセージが表示されます。

1

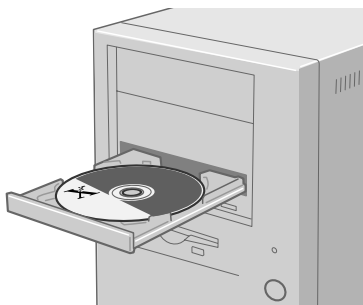
コンピューターと2150Jが、USBケーブルかパラレルケーブルで接続されていることを確認します。

『セットアップガイド』の「7　コンピューターと接続する」

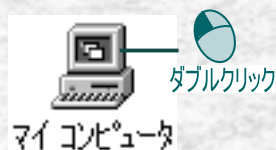
ヒント USBケーブルとパラレルケーブルのどちらでも接続できる場合は、USBケーブルを接続することをお勧めします。USBケーブルの方が、データを速く転送できるからです。

2

電源ケーブルが、電源ケーブル接続口から抜けていることを確認します。

コンピューターの電源を入れて、Windowsを起動します。

注記
- ほかのアプリケーションソフトを起動している場合は、終了してください。
- 2150Jの電源が入っていると、新しいハードウェアを追加するための画面が表示されます。[キャンセル]をクリックして、画面を閉じてください。2150Jの電源ケーブルを、電源ケーブル接続口から抜いたあと、手順4に進んでください。

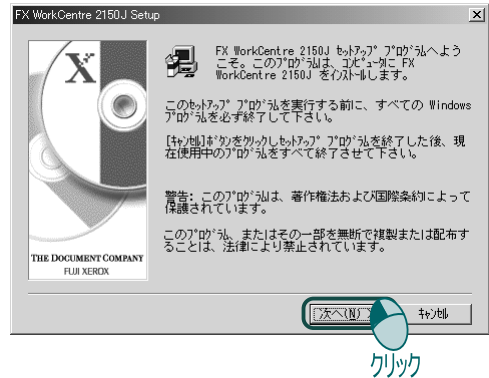
4 「WorkCentre　2150J」CD-ROMをセットします。

5 次の画面が表示されたことを確認します。

補足
2〜3分待っても、上の画面が表示されないときは、次の操作を行います。

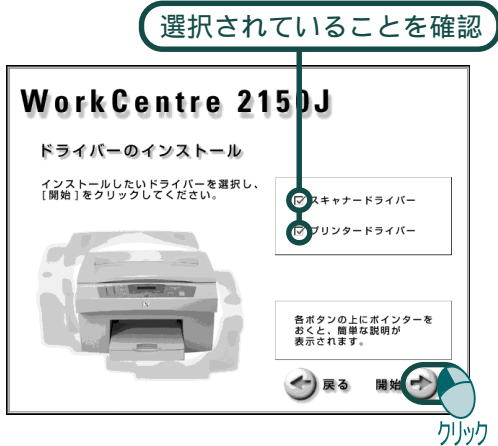
① デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。

② CD-ROMまたは[WC2150J]のアイコンをダブルクリックします。

②の操作をしても上の画面が表示されず、CD-ROMの内容が表示されたら、[Menu.exe]アイコンをダブルクリックします。

6

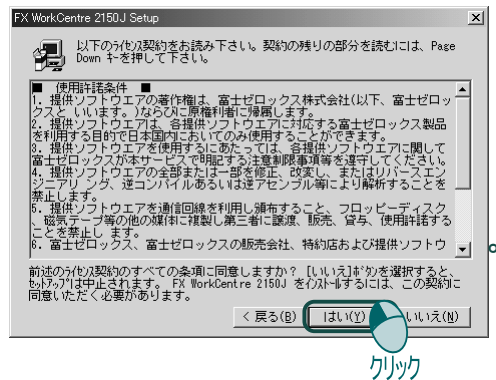
[ドライバーのインストール]をクリックします。

7

[スキャナードライバー]と[プリンタードライバー]を選択して、[開始]をクリックします。

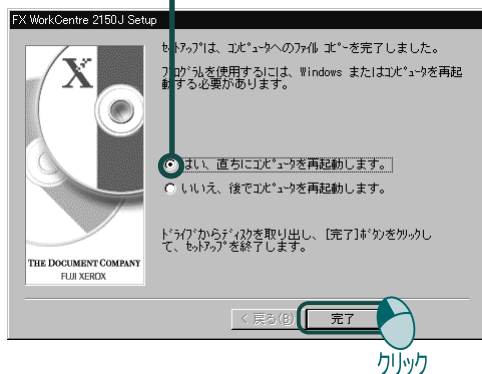
8

[次へ]をクリックします。

9

ライセンス契約を読んで、[はい]をクリックします。

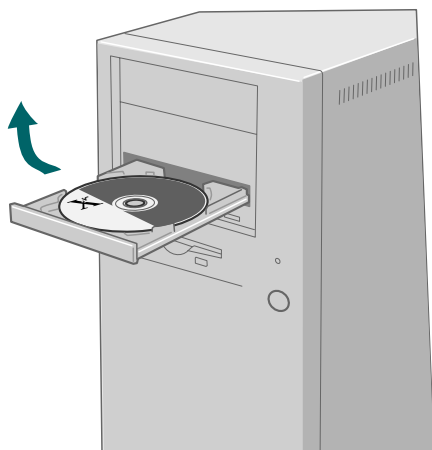
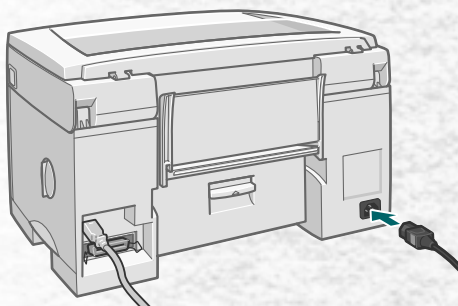
スキャナードライバーとプリンタードライバーのインストールが始まります。

10

[はい、直ちにコンピュータを再起動します。]を選択して、[完了]をクリックします。

コンピューターが再起動されます。

ヒント
ドライバーのインストールが完了すると、2150Jは、「通常のプリンタ」に設定されます。印刷指示をするときは、優先して2150Jが選択されます。

11

「WorkCentre 2150J」CD-ROMをCD-ROMドライブから取り出します。

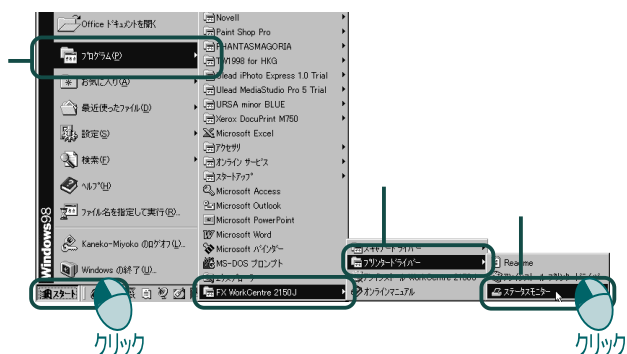
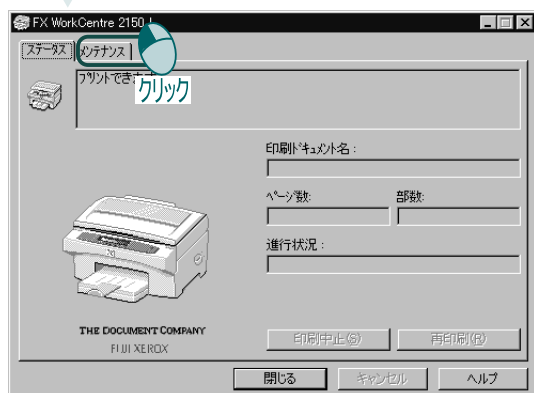
12

コンピューターが再起動したら、電源ケーブルを、電源ケーブル接続口に差し込みます。

2150Jとコンピューターを USBケーブルで接続している場合は、次の画面が表示され、自動的にUSBドライバーがインストールされます。

これで、ドライバーのインストールは終了です。
次のページに進み、プリントヘッドのレジ調整をします。

レジ調整

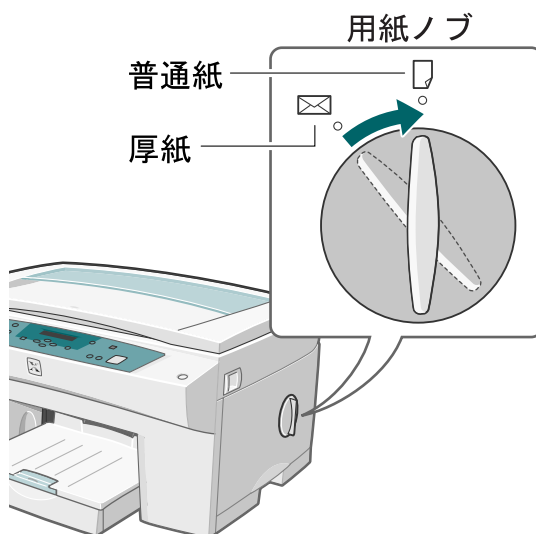
画面は、例としてWindows 98の画面を使用しています。

1 ステータスモニターを起動します。

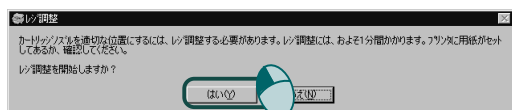
[スタート]－[プログラム]－[FX WorkCentre 2150J]-[プリンタードライバー]－[ステータスモニター]の順にクリックします。

2 [メンテナンス]タブをクリックします。

3 [レジ調整]をクリックします。

4 2150Jに、A4サイズの普通紙をセットします。

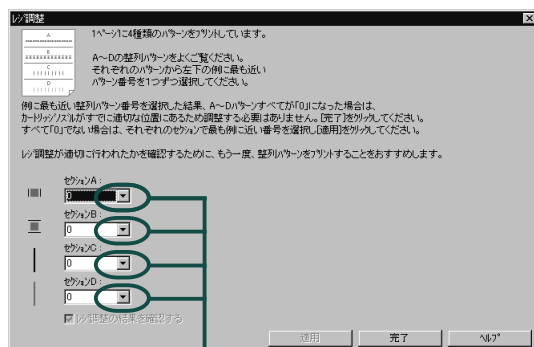
「5.1 用紙をセットする」（64ページ）

5 用紙ノブが□（普通紙）に合っていることを確認します。

6

[はい]をクリックします。

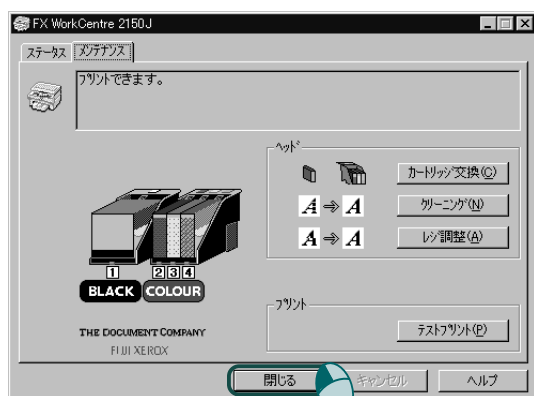
レジ調整用パターンの印刷が始まります。

7

印刷されたレジ調整用のパターンを見ながら、レジ調整の画面にパターン番号を入力します。

パターン番号の入力方法は、「レジ調整のパターンの見方」（132ページ）を参照してください。

[A]から[D]までのすべてのパターン番号が[0]のときは、[完了]をクリックします。すべてのパターン番号が[0]にならなかった場合は、[適用]をクリックしたあとに、[完了]をクリックします。

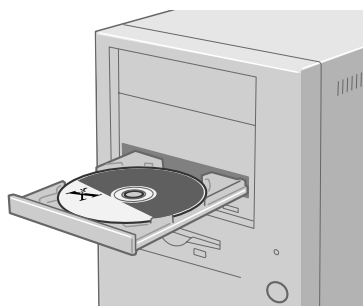
[A]から[D]まで、すべてのパターン番号が[0]にならなかった場合は、もう一度レジ調整用のパターンを印刷することをお勧めします。[レジ調整の結果を確認する]に✓が付いている状態で[適用]をクリックすると、レジ調整用のパターンの印刷が始まります。印刷後、手順7へ戻ります。

9

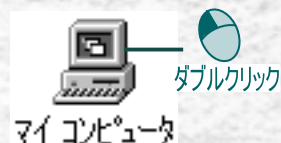
[閉じる]をクリックします。

これで、レジ調整は終了です。
次のページに進み、DocuWorksをインストールします。

DocuWorksの インストール

画面は、例としてWindows 98の画面を使用しています。

1

「WorkCentre 2150J」CD-ROMをセットします。

2〜3分待っても、画面が表示されないときは、次の操作を行います。

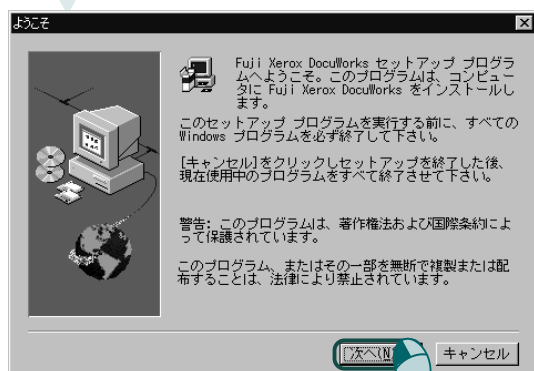
① デスクトップの[マイコンピュータ]アイコンをダブルクリックします。

② CD-ROMのアイコンをダブルクリックします。

②の操作をしても画面が表示されずに、CD-ROMの内容が表示されたら、[Menu.exe]アイコンをダブルクリックします。

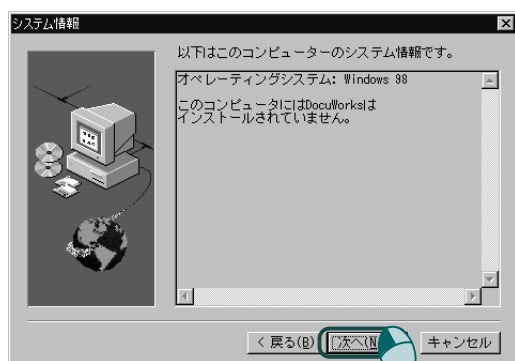
2

次の画面が表示されたことを確認します。

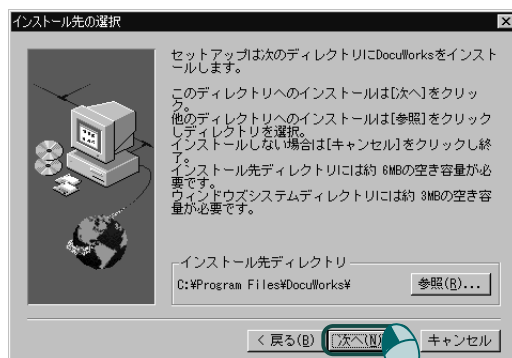
3

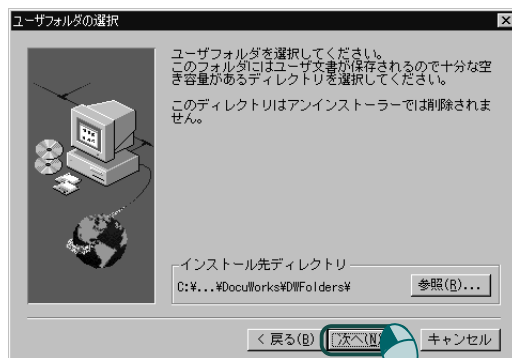
[DocuWorksのインストール]をクリックします。

[次へ]をクリックします。

5

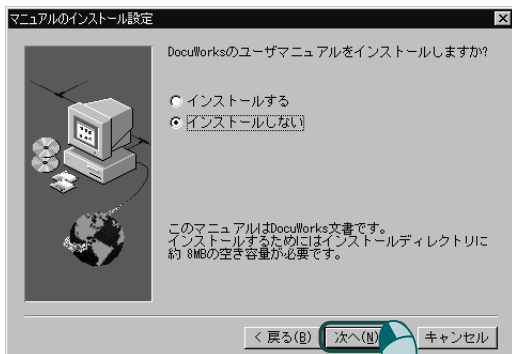
[次へ]をクリックします。

6

DocuWorksをインストールするディレクトリを確認して、[次へ]をクリックします。

インストールするディレクトリを変更するときは、[参照]をクリックして、「ディレクトリの選択」ダイアログボックスでインストール先のディレクトリを指定します。

7

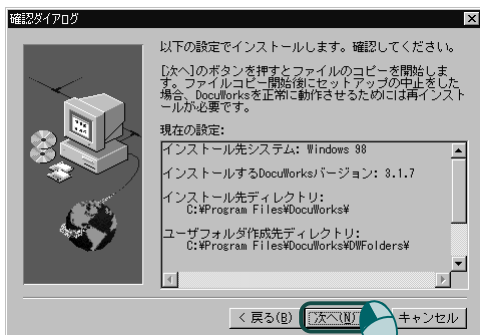
ユーザフォルダをインストールするディレクトリを確認して、[次へ]をクリックします。

8

DocuWorksのマニュアルをインストールするかしないかを選択して、[次へ]をクリックします。

はじめの状態では[インストールしない]が選択されています。[インストールする]を選択すると、DocuWorksのマニュアルがコンピューターにインストールされます。

9

[次へ]をクリックします。

DocuWorksのインストールが始まります。

10

[終了]をクリックします。

これでDocuWorksのインストールは終了です。

- DocuWorksを使ってスキャンする方法は、「4.1　スキャンしてみよう」の「DocuWorksでスキャンする」(51ページ)を参照してください。
- DocuWorksの詳しい使い方はDocuWorksのマニュアルを参照してください。

DocuWorksのマニュアルは、コンピューターにインストールしている場合とインストールしていない場合で、参照する方法が違います。「DocuWorksのインストール」(11ページ)の手順8で[インストールする]を選択していれば、コンピューターにインストールされています。

- DocuWorksのマニュアルをインストールしている場合
  ① [スタート] - [プログラム] - [Fuji Xerox DocuWorks] - [ユーザーズガイド]の順にクリックします。
  ② 表示したい章をクリックします。

- DocuWorksのマニュアルをインストールしていない場合は、次のページに進みます。

- DocuWorksのマニュアルをインストールしていない場合
  ① 「WorkCentre 2150J」CD-ROMをセットします。
  ② WorkCentre 2150Jのインストールの画面が表示された場合は[終了]をクリックします。
  ③ デスクトップの[マイコンピュータ]をダブルクリックします。
  ④ CD-ROMのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[開く]を選択します。
  ⑤ [DocuWorks]をダブルクリックします。
  ⑥ [manual]をダブルクリックして、表示したい章を開きます。

CD-ROM内のファイル名	章名
0Readme	はじめに
1Desk	Deskの操作
2Viewer	Viewerの操作
3Plugin	プラグインの利用
4Ole	OLEの利用
5Error	エラーメッセージ
6Furoku	付録
7Atozuke	後付け

1.2 ステータスモニターで2150Jの状態を確認する

「ステータスモニター」を使用すると、コンピューターの画面から2150Jの状態を確認できます。ステータスモニターは、いつもコンピューターの画面に表示させておくことをお勧めします。

注記

- コンピューターのパラレルインターフェイスが、双方向通信に対応していないと、ステータスモニターは使用できません。
- 推奨ケーブル以外のケーブルを使用したり、プリンター切り替え器などをコンピューターと2150Jの間に装着したりすると、ステータスモニターが使用できないことがあります。

参照

ステータスモニターが表示されないときは、「6.8　そのほかのエラー」（108ページ）を参照してください。

ステータスモニターを表示する

ステータスモニターは、2150Jで印刷が始まると、自動的にコンピューターの画面に表示されます。
また、次の方法で表示できます。

プリンタードライバーからステータスモニターを表示する

1

プリンタードライバーのプロパティを表示します。

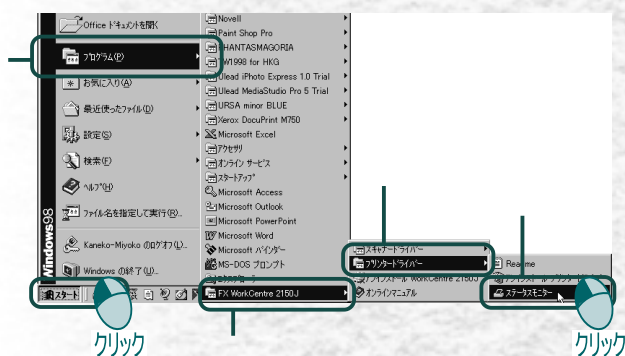
[スタート]−[設定]−[プリンタ]の順にクリックします。
[プリンタ]ウィンドウの中の[WorkCentre 2150J]をクリックして、[ファイルメニュー]の[プロパティ]をクリックします。

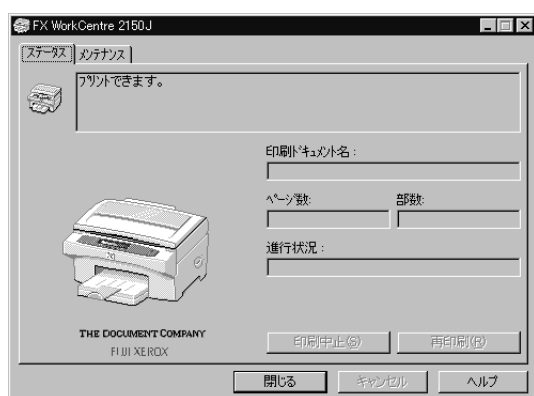
2

[用紙]タブの[ステータスモニター]をクリックします。

Windowsの[スタート]からステータスモニターを表示する

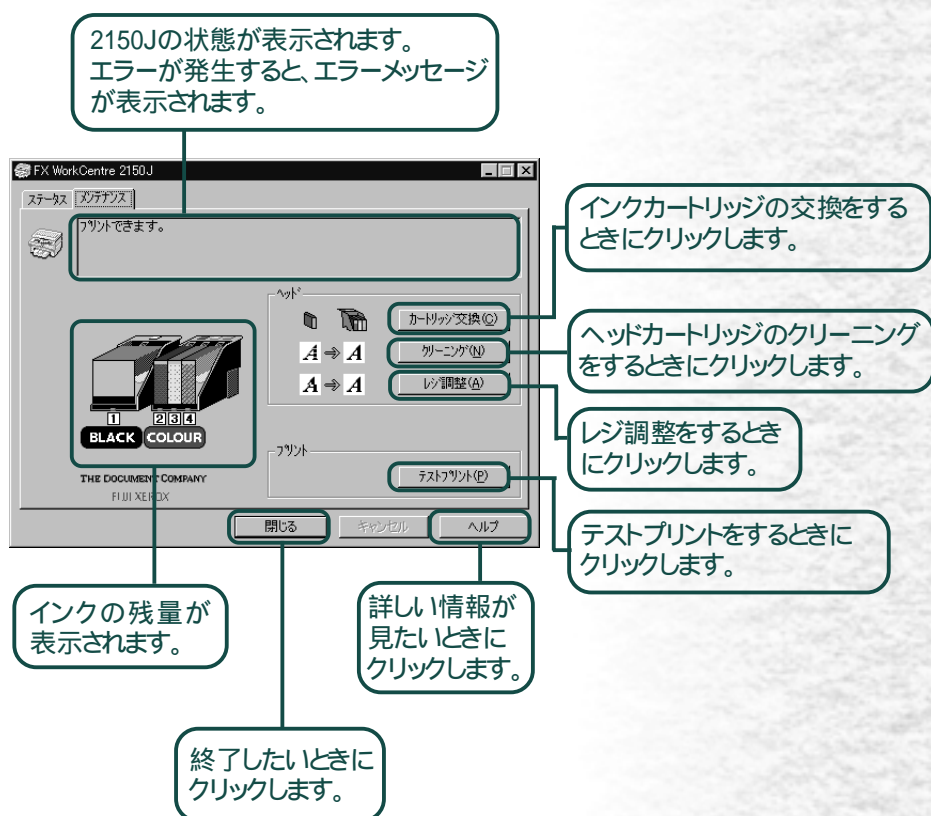
1

[スタート]−[プログラム]−[FX WorkCentre 2150J]-[プリンタードライバー]-[ステータスモニター]の順にクリックします。

2150Jの状態を見る

ステータスモニターの[ステータス]タブでは、2150Jの状態を確認できます。2150Jにエラーが発生している場合は、メッセージが表示されます。

2150Jの
メンテナンスをする

ステータスモニターの[メンテナンス]タブで、ヘッドカートリッジのクリーニングやレジ調整など、プリンターのメンテナンスを行います。

参照

- **「7.1　インクカートリッジを交換する」(110ページ)**
- **「7.3　プリントヘッドのレジ調整」(126ページ)**
- **「7.4　プリントヘッドのクリーニング」(134ページ)**

1.3 準備はできましたか？

印刷、コピー、スキャンの前に、2150Jが使用できるようになっているかどうかを、念のためにチェックしておきましょう。

CHECK 1 電源ケーブルはきちんと接続されていますか？

2150Jやコンピューターの電源ケーブルが、きちんと接続されているかどうかを確認します。
電源ケーブルが外れかけていると、トラブルの原因になることがあります。

CHECK 2 パラレルケーブル、またはUSBケーブルはきちんと接続されていますか？

2150Jとコンピューターを接続しているケーブル（パラレルケーブル、またはUSBケーブル）がきちんと接続されているかどうかを確認します。
ケーブルの接続が緩んでいたり、外れかけたりしていると、トラブルの原因になることがあります。

CHECK 3 2150Jに用紙はセットされていますか？

どんな用紙を使ったらいいのかがわからない場合には、「8.4　消耗品について」（168ページ）を参照してください。
また、用紙のセット方法がわからない場合には、「5.1　用紙をセットする」（64ページ）を参照してください。

CHECK 4 2150Jにヘッドカートリッジとインクカートリッジはセットされていますか？

ヘッドカートリッジとインクカートリッジのセット方法がわからない場合は、『セットアップガイド』の手順5、6を見てセットします。

操作パネルとランプの状態は？

2150Jの電源を入れます。操作パネル、ランプの状態はどうですか？
ディスプレイの下の赤いランプが点灯せずに、操作パネルに「コピー　デキマス」と表示されたら問題ありません。
もし、エラーメッセージが表示されていたら、「6.7　エラーメッセージが表示された」（100ページ）を参照して、対処してください。

ソフトウェアをコンピューターにインストールしましたか？

コンピューターに2150J専用のソフトウェアがインストールされていないと、2150Jは正しく動作しません。
まだソフトウェアをインストールしていない場合は、「1.1　必要なソフトウェアをインストールする」（2ページ）を読んで、ソフトウェアをインストールします。

ユーザー登録は済みましたか？

同梱されているお客様登録カードで、ユーザー登録ができます。
ユーザー登録をすると、お客様からのお問い合わせの際、対応がスムーズになります。
ユーザー登録は、同梱のお客様登録カードに必要事項を記入して投函していただくか、またはインターネット（http//:www.fujixerox.co.jp/）を使って簡単に登録していただくことができます。まだのかたは、すぐにユーザー登録を済ませましょう。
ユーザー登録については、「8.6　アフターサービスのご案内」（178ページ）で詳しく説明しています。

Chapter 2

印刷する

2.1 印刷してみよう

印刷までの流れ

① 2150Jの電源を入れます。

② 用紙をセットします。

③ アプリケーションを起動します。

④ 印刷方法を設定します。

プリンタードライバーの詳しい設定については、オンラインマニュアルを参照してください。

⑤ 印刷を実行します

印刷が始まると、ステータスモニター（印刷状況やインク残量などを表示するソフトウェア）が起動し、コンピューターの画面に表示されます。ステータスモニターについては、「1.2　ステータスモニターで2150Jの状態を確認する」（16ページ）を参照してください。

ワードパッド文書をカラーで印刷してみましょう。

1

2150Jの電源を入れます。

操作パネルに「コピー　デキマス」と表示されます。

2

用紙をセットします。

用紙のセット方法は、使用する用紙によって違います。

参照

「5.1　用紙をセットする」(64ページ)

3

アプリケーションを起動します。

ここでは、例として、「ワードパッド」を起動します。

ヒント

ワードパッドの開き方
[スタート]－[プログラム]－[アクセサリ]－[ワードパッド]の順にクリックします。

4

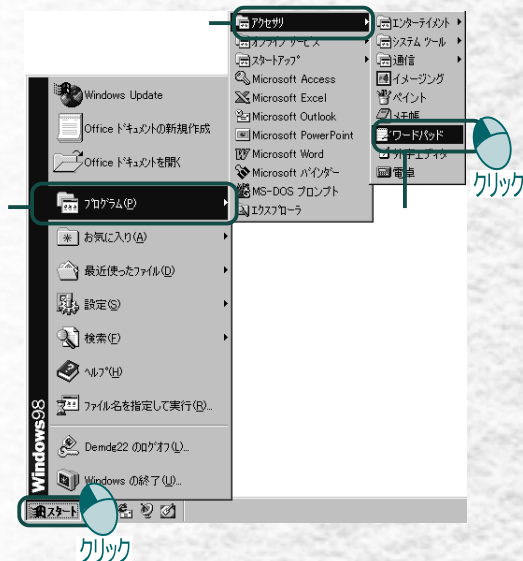
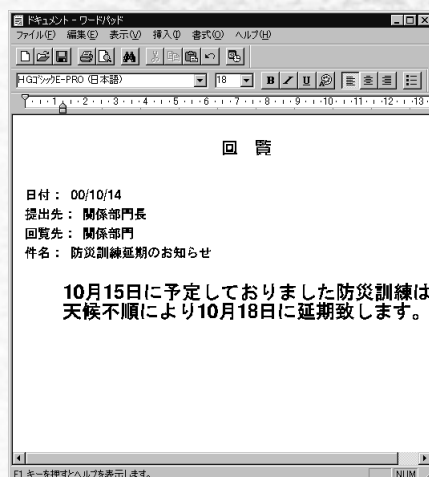
印刷する文書を開きます。

ドキュメント - ワードパッド
ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　挿入(I)　書式(O)　ヘルプ(H)

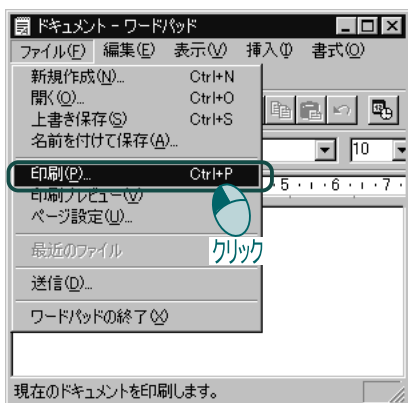
回　覧

日付：　00/10/14
提出先：　関係部門長
回覧先：　関係部門
件名：　防災訓練延期のお知らせ

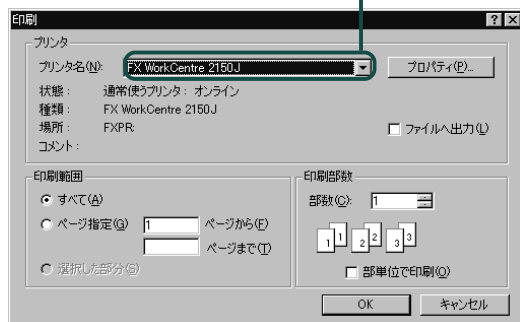
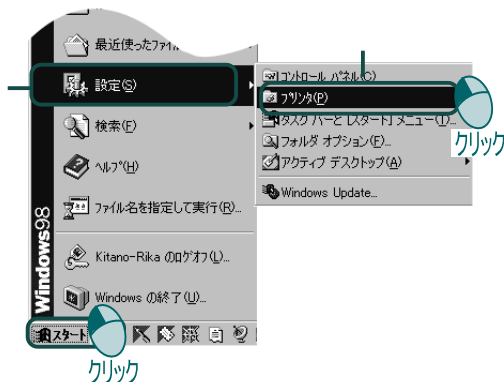
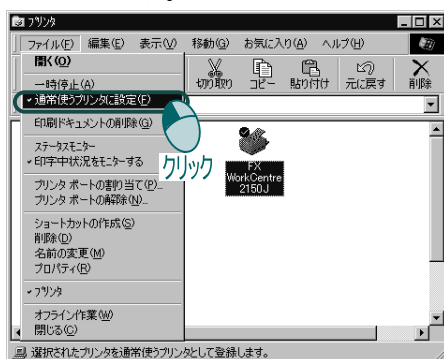
10月15日に予定しておりました防災訓練は天候不順により10月18日に延期致します。

F1 キーを押すとヘルプを表示します。　NUM

5

[ファイル]メニューの[印刷]をクリックします。

ヒント
ソフトウェアによっては、[プリント]になっているものもあります。

ヒント
印刷プレビューを使おう！
ここで[印刷]のかわりに[印刷プレビュー]を選択すると、印刷イメージを画面上に表示できます。

6

プリンター名や、印刷する部数などを選択します。

ヒント
「通常使うプリンタ」
2150Jを「通常使うプリンタ」に設定すると、[プリンタ名]にはいつも2150Jが表示されます。
設定の方法は、[スタート]－[設定]－[プリンタ]の順にクリックします。

次に、「WorkCentre 2150J」をクリックして、[ファイル]メニューの「通常使うプリンタに設定」をクリックします。

7

[プロパティ]をクリックします。

プリンタードライバーが表示されます。

8

印刷方法を設定します。

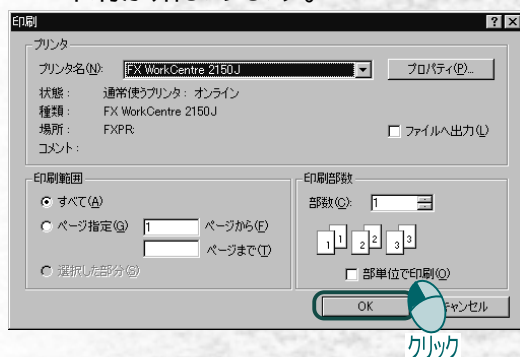
カラーで印刷するために、ここでは[用紙]タブの[カラー]をクリックします。

9

[OK]をクリックします。

10

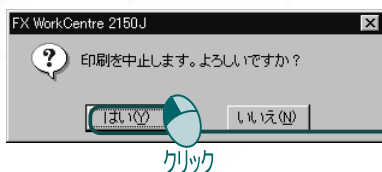
[OK]をクリックします。

印刷が始まります。

2.2 印刷を中止する

印刷を開始してしまうと、操作のタイミングによって、印刷を中止できないことがあります。

ステータスモニターから中止する

ステータスモニターは、印刷が始まると自動的に表示されます。ステータスモニターが表示されていないときは、Windowsの[スタート]をクリックしてから、[プログラム]－[FX WorkCentre 2150J]-[プリンタードライバー]－[ステータスモニター]の順にクリックします。詳細は、「1.2　ステータスモニターで2150Jの状態を確認する」（16ページ）を参照してください。

① [ステータス]タブが表示されていないときは、ここをクリックする

② [印刷中止]をクリックする

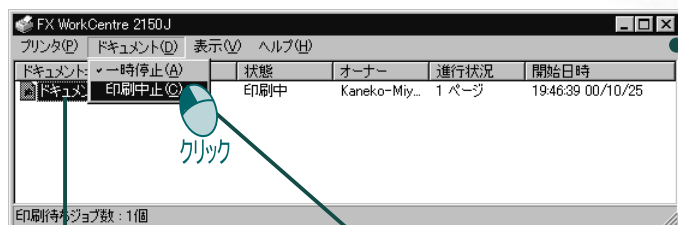
③ 中止を確認する画面が表示されたら、[はい]をクリックする

[プリンタ]ウィンドウから中止する

① 画面の下に表示されているタスクバーの、プリンターのマークをダブルクリックする

② 中止したい印刷データをクリックする

③ [印刷中止]をクリックする

2

2.3 速く印刷する（高速印刷）

とにかく速さを優先したい。そんなときは、[高速]で印刷します。

参照 **[高速]印刷についての詳しい設定方法は、オンラインマニュアルで説明しています。**

高速印刷

プリンタードライバーで設定します。なお、[高速]印刷は、[標準]や[高画質]と比べると画質品質が下がります。

① [画質調整]タブをクリックする
② [印刷画質]で[高速]を選択する

[まとめて1枚]は、数ページ分の原稿を、1枚の用紙に合わせて縮小して、印刷します。この機能は、用紙を節約できるだけでなく、見開きのレイアウトにして印刷するときや、袋とじにするときにも便利です。

[まとめて1枚]についての詳しい設定方法は、オンラインマニュアルで説明しています。

2枚分の原稿が1枚に!

まとめて1枚

① [出力]タブをクリックする
② [まとめて1枚(Nアップ)]で[2アップ]、[4アップ]、[8アップ]のどれかを選択する

2.5 きれいに印刷する

きれいに印刷したい。そんなときは、用紙を専用紙に変えたり、レジ調整でプリントヘッドの位置を調整したりします。

用紙を変える

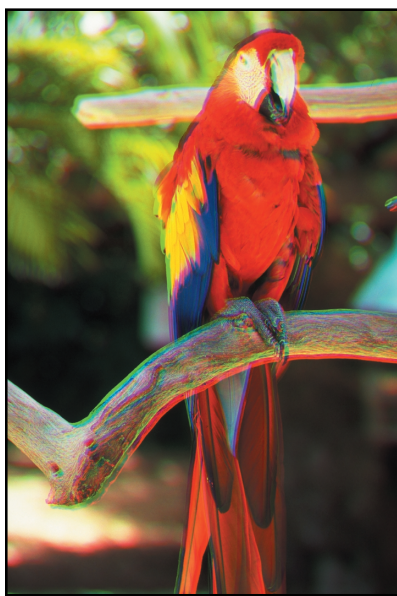
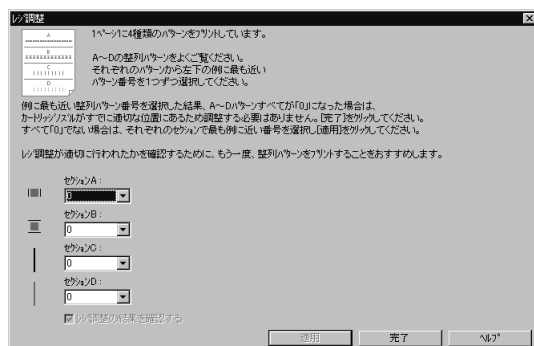
目的に合った用紙で印刷してみましょう。写真を特にきれいに印刷したいときは、フォト光沢紙がお勧めです。紙の表面に光沢があり、色をより鮮やかに再現できます。

注記　**用紙の種類を変えたときは、必ずプリンタードライバーの用紙設定も変更してください。プリンタードライバーの設定の方法は、オンラインマニュアルで詳しく説明しています。**

参照　**「8.4　消耗品について」（168ページ）**

レジ調整をする

2150Jのプリントヘッドの位置が合っていないと、色が均一に出なかったり、ピントがぼやけたような感じになったりします。レジ調整をして、プリントヘッドの位置を修正します。

「7.3　プリントヘッドのレジ調整」（126ページ）

レジ調整前

レジ調整後

プリンタードライバーの設定を変える

プリンタードライバーの印刷画質を[高画質]に変えて印刷すると、印刷に時間はかかりますが、よりきれいに印刷できます。

ヒント

プリンタードライバーは、用紙の設定などによって、自動的に適切な画質を選択する機能を持っています。たとえば用紙の種類が[光沢紙]のときは、画質は[高画質]に設定されます。

参照

プリンタードライバーの詳しい設定方法は、オンラインマニュアルで説明しています。

① [画質調整]タブをクリックする
② [印刷画質]で[高画質]を選択する

印刷画質が[高速]のとき

印刷画質が[高画質]のとき